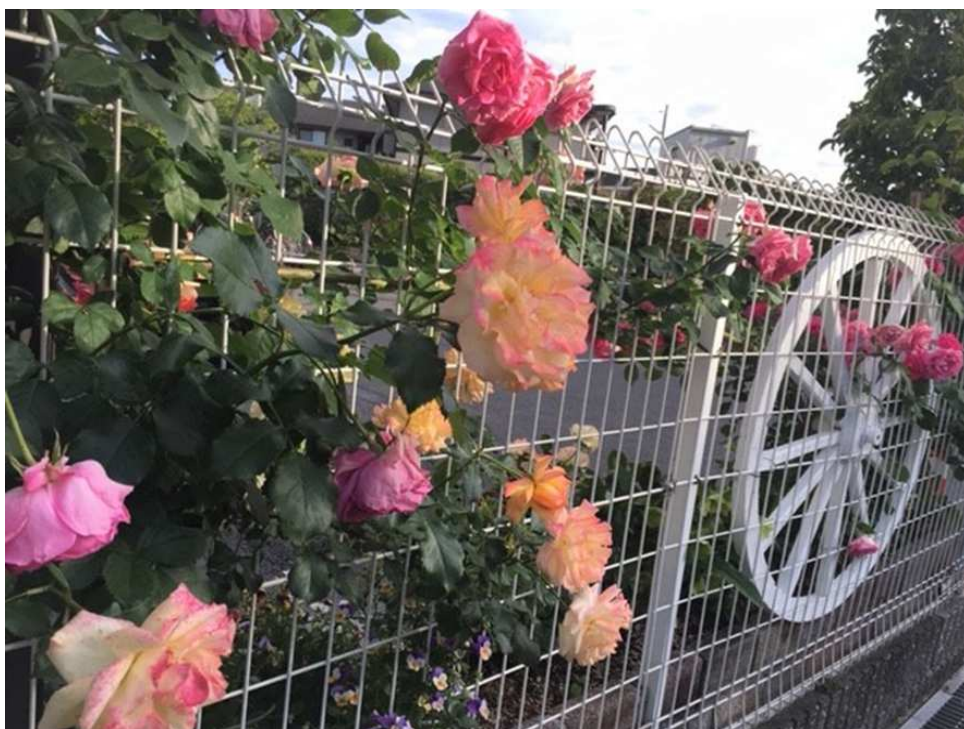


Nozomi-Planningレポート

令和2年5月号 Vol.161



撮影地

大阪府茨木市

「すてきなパン屋さん」

撮影者

高見 梨恵

●今月のTOPICS●

【労基・人事労務・労務管理】

- ・拡充される新型コロナウイルス感染症に関連した助成金
- ・非正規社員を雇入れた際に求められる説明義務
- ・賃金債権の消滅時効 まずは3年へ延長
- ・高年齢雇用継続給付の縮小等、順次施行される労働保険の改正

【その他情報】

- ・春・夏・冬のはなし Vol.113
- ・今月の書籍紹介
「FACTFULNESS(ファクトフルネス)10の思い込みを乗り越え、データを基に世界を正しく見る習慣」
- ・5月の税務と労務の手続き
[提出先・納付先]

のぞみプランニングは「人」に関わるエキスパートとして、人事・労務管理のサポートを通じてお客様の成長・発展に寄与し、そこで働く全ての従業員様・ご家族様・お客様の満足度向上を応援する社会保険労務士を中心とした労務コンサルティング会社です。
お客様と共に私たちも成長・発展し、喜びを分かちあい、心を結び合えるよう努めています。

【発行元】 合同会社/社労士法人のぞみプランニング
〒530-001 大阪市北区芝田1丁目4-17-5F
TEL(06)6377-6177 FAX(050)3488-0145

【企画・編集】 合同会社/社労士法人のぞみプランニング
〒530-001 大阪市北区芝田1丁目4-17-5F
TEL(06)6377-6177 FAX(050)3488-0145
理念：「共に学び、共に育み、共に分かち合う」
<http://www.nozomiplanning.com/>



Vol.113 八崎さんの

春・夏・冬のはなし



コロナ休みの懐古余話

毎年3月～6月は、私が係わっている多くの会の締めと、新しい期を迎える準備で日程表はぎゅっしり埋まっているのだが、コロナ騒動で会合は次々と中止・延期で、×印に変わってしまった。2月号の本欄で紹介していた“認知症に想う—5月開催の講演会を前にして—”の市民講座も、3月早々に中止の決定。

そんな状況の中で、私は循環器病センターの定期検診に行くべきか、それとも延期すべきか、病院からは別に通知もなく迷っているうちに、予約日の3月9日を迎えた。

思い起こせば約10年前、ある席で仲間の1人が心臓を患っているのが話題になり、その時私は無意識に自分の脈に指を当てていた。数回打っていた脈が一瞬止まり、1回飛んで再び打ち始め…この時初めて不整脈であることに気付いた。

早速同級生が開業している医院に行き、心電図検査の為24時間ホルターの装置をつけ、その結果は紹介された循環器病センターで診てもらふことになり、以降今日まで3ヵ月毎の検診が続くことになった。

1昼夜で約10万回打っている脈のうち、1万回飛んでいると担当医から告げられ驚いたのだが、心房細動などと違って性質の良い不整脈だから投薬の必要もなく、様子を見ることで初診は終わった。しかし2年後、回数は2万7千回と急上昇で投薬がスタート、その後の経過は割愛するが、結果として徐々に減少し、2年前から不整脈は消え、昨年からは投薬も中止、このような状況で予約日といえど外出しない方が良いのでは、と思案に暮れていたのだ。

だが3月9日は忘れられない因縁とも思える日であった。初めてセンターを訪れたのが3月9日、5年前にも、そして担当医が変わった今年も、何とこの日は「39の日」(脈の日)で、認知症とも深い関連のある不整脈・心房細動を啓蒙する週間のスタートの日なのだ。そう思った私は迷いを一転、午後の検診に出かけることに。

すべての会合が消え、手持ちぶさたになった私は、ふと日本には“記念日”は何日くらいあるのだろうかと思い始めた。家内に尋ねてみると最初に出たのが11月22日の“いゝ夫婦の日”に9月9日の“救急の日”…など、全部で50日くらいあるだろうと言う。

私も多くて100日くらいかなと思っていたのだが、調べてみると何と1800日も。語呂合わせで耳(3/3)、鼻(8/7)、虫(6/4)、野球(8/9)、俳句(8/9)、登山(10/3)、…数えるときりがないが、365日欠かさず毎日平均5記念日があり、特に11月1日や11日は語呂とは関係なく“いゝ”を頭につけて、“いゝ泡盛の日”をはじめ寿司、紅茶、食い道楽、変わった所では靴下、カーペット…など、両日には20くらいの記念日が並んでいるのには驚くばかり。

さてこの日本記念日協会のリストの中に、今なお記載されているのに驚きと、懐古の情に駆られる日があった。3月10日の陸軍記念日と、5月27日の海軍記念日である。

明治38年、日露戦争で乃木大将率いる陸軍部隊(25万人)が20日間にわたる奉天の会戦でロシア軍(31万人)を撃破した記念日。そして後者は、北上を続けて日本海に入り、ウラジオストク港を目指すロシアのバルチック艦隊を、対馬沖で対峙した東郷元帥率いる連合艦隊が、奇策と思える横一列の丁字戦法で、僅か1時間足らずで撃滅した日を記念して作られたのだ。

小学生時代、毎年こんな講話を聴き、東郷元帥が旗艦三笠に掲げたZ旗と、「天気晴朗なれども浪高し、皇国の興廃この一戦にあり。各員一層奮励努力せよ！」の訓示の写真を見たあと、紅白饅頭をもらって喜び勇んで家路についていた頃を思い出しながら、循環器病センターに向かう私であった。

筆者紹介：八崎輝義 日本チバガイギー社(現ノバルティスファーマ)教育研修課長、取締役人事統括部長、京都薬科大学常任理事、現京薬会相談役。著書“今知っておきたいエイズ”、“京薬会の120年の軌跡”等執筆。



今月の書籍紹介～一押しの一冊をご紹介します～



『FACTFULNESS (ファクトフルネス)
10の思い込みを乗り越え、データを基に世界を正しく見る習慣』
著者：ハンス・ロスリング、オーラ・ロスリング、アンナ・ロスリング・ロンランド
(発行所 日経 BP 社 1,800 円+税)

「名作中の名作。世界を正しく見るために欠かせない一冊だ」ービル・ゲイツ

「思い込みではなく、事実をもとに行動すれば、人類はもっと前に進める。そんな希望を抱かせてくれる本」ーバラク・オバマ元アメリカ大統領

ビル・ゲイツは、2018年にアメリカの大学を卒業した学生のうち、希望者全員にこの本をプレゼントしたほどです。今回は2019年の大ベストセラー作品を紹介いたします。

ファクトフルネス (factfulness) とは直訳すると、「事実に基づいている状態」です。事実に基づいている状態とは、“事実を歪曲せず”物事を判断することです。なぜ人は事実を歪曲してしまうのでしょうか？その原因となるのが、「本能」です。本能は時として事実を曲げ、まったく違った解釈をします。この本能が引き起こす勘違いに気づくことが、ファクトフルネスなのです。この本能は大きく10種類に分けられます。

- ① 分断本能 (世界は分断されているという思い込み)
- ② ネガティブ本能 (世界はどんどん悪くなっているという思い込み)
- ③ 直線本能 (世界の人口はひたすら増え続けるという思い込み)
- ④ 恐怖本能 (危険でないことを、恐ろしいと考えてしまう思い込み)
- ⑤ 過大視本能 (目の前の数字がいちばん重要だという思い込み)
- ⑥ パターン化本能 (ひとつの例がすべてに当てはまるという思い込み)
- ⑦ 宿命本能 (すべてはあらかじめ決まっているという思い込み)
- ⑧ 単純化本能 (世界はひとつの切り口で理解できるという思い込み)
- ⑨ 犯人捜し本能 (誰かを責めれば物事は解決するという思い込み)
- ⑩ 焦り本能 (いまずぐ手を打たないと大変なことになるという思い込み)

インターネットが普及し、私たちはさまざまな情報を浴びています。中には悪質な情報もあり、これらの情報に惑わされないためには、受け取った情報を鵜呑みにするのではなく、「自分の頭で精査する」ことです。今まさに新型コロナに関する情報が毎日流されています。例えば、外出自粛等の対策を全くとらなかった場合85万人が重篤化し、約半数の40万人亡くなるというショッキングな報道(4/15)がありました。それについてどう感じましたでしょうか？実際に前提条件を元に計算してみると論理矛盾が生じると思うのですが、ただ、感染予防にはできるだけ積極的に接触を避けるということは間違いのないことかもしれません。自分自身の知識不足、傲慢さ、焦りによる間違った判断、他人をステレオタイプにはめてしまうこと、人を責めたくなくなってしまうこと等誰もがとらわれやすい「ドラマチックな本能」を抑える術が本書には書かれています。

(執筆 工藤 英二)



<5月の税務と労務の手続[提出・納付先]>

11日

- 源泉徴収税額・住民税特別徴収税額の納付
[郵便局または銀行]
- 雇用保険被保険者資格取得届の提出
＜前月以降に採用した労働者がいる場合＞
[公共職業安定所]

15日

- 特別農業所得者の承認申請 [税務署]

6月1日

- 軽自動車税の納付 [市区町村]
- 自動車税の納付 [都道府県]
- 健保・厚年保険料の納付 [郵便局または銀行]
- 健康保険印紙受払等報告書の提出
[年金事務所]
- 労働保険印紙保険料納付・納付計器使用状況報告書の提出 [公共職業安定所]
- 外国人雇用状況の届出(雇用保険の被保険者でない場合) <雇入れ・離職の翌月末日>
[公共職業安定所]
- 確定申告税額の延納届出額の納付 [税務署]

～ちょっとブレイク～



「去年の5月、茨木市内のパン屋さんのガーデンの風景です。外のテラスで四季折々の花を眺めながらいただけるすてきな空間で、いつもお客さんと賑わっていました。落ちているパンの切れはしを小鳥がつついたり、お客さんが連れてくる犬ものんびりとあくびをしていたり、動物たちも同じような気持ちでいました。

SDGs(持続可能な開発目標)はこれから更に推進されていくと思います。人も、動物も、植物も、物も、すべて大切なのだと改めて思い返しています。」
撮影者 高見 梨恵

当事務所より一言

先日発令された緊急事態宣言を受け、弊社でも職員のテレワークによる勤務を実施しております。

当然、感染リスク防止が目的ですので、準備が完全に整っていないながらも半ば「見切り発車」でスタートしたのですが、いざやってみるとやはりネット環境等による様々なトラブルが続出し、対応に追われました。

しかしながら、テレビ会議システムを使用した朝礼や、打ち合わせ、ペーパーレスによる手続き等のチェックなど、当初「これは当事務所では難しいのでは？」と思ったことも必要に迫られてやるとなると何とかありますし、やってみると「意外と良いね」という声も聞こえて来て、こういった状況ではありますが、今後の働き方改革に向けた取り組みの礎になる発見も多々ありました。

皆様の職場では、どうなさっているでしょうか？

ところでこのテレビ会議システムを使用して今、飲み会もオンラインで行うことが流行っているそうです。出席者それぞれが自宅で自分が飲むお酒やおつまみを持ち寄り、パソコンやスマホの画面を見ながら、ワイワイやるのですが、機会あって私も先日このテレビ会議飲み会に参加しました。当初は「そんなの上手くいくわけないし、楽しくないよ」と懐疑的でしたが、参加してみるとこれが…
「めっちゃ楽しいんです…」
皆様も是非試してみてください。

閉塞感に充ちたこんな時だからこそ、工夫して楽しみたいですね。

b y 澤田 啓一

